

議題1 「令和5年度大正区運営方針」の振り返りについて

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
1	地域活動の活性化	<p>町会長をやっているので、区民まつりやスポーツ大会があることは知っている。我々や地域のまちづくり実行委員会の皆さんが一生懸命携わっていることや苦勞されていることも知っている。区役所から応援していただいているのも分かっている。</p> <p>しかし、運営方針の中で「地縁型団体が行う活動に参加している」と回答した割合が23%と記載されているが、実感としては10%もない。町会に100人いたとしたら、そのうち10人が役員以外で来ているように思えない。</p> <p>それが本当に区民が求めている事業なのかをもう一度考え、絶対に区民が求めるはずだということであれば、それが納得できるような我々の動き方、区役所からの働きかけというのは必要だと思う。</p>	中島委員	<p>&lt;細川地域協働課長&gt; 区民まつりについては、区民主体での運営ということで実行委員会を立ち上げ、幅広い世代の方に参加していただけるような内容を皆さんで考えながら行っています。区民まつり自体が本当に必要なのかという点については、どのように判断してきたのか、今すぐにお答えすることができませんが、できるだけ区民ニーズに即した形で実施できるように考えていただいていると思います。</p> <p>スポーツ大会については、以前はジョギング大会を開催していましたが、コロナ等で中止になっており、またそういうスポーツの大会をとという声もありましたので、スポーツ大会を開催することになりました。こちらについては確かに参加する対象者が限定される内容であり、幅広い世代の方に参加いただけたかということ、そうではなかったかと思っております。</p> <p>ご意見にも頂いているとおり、何を目的に誰のためにするイベントなのかという広報が十分にできてなかった部分があると思います。今後はしっかりと広報していきながら、参加意欲を高めてイベントを行っていきたいと思います。</p> <p>&lt;北吉副区長&gt; 多くのイベントの中でも区民まつりについては、多くの団体のご協力を頂いています。実行委員会には地域団体、企業、NPOの方々も参加していただいで協議しており、盛大に行っていると思います。</p> <p>今年度、区民ギャラリーにおいて、第1回区民まつりからのポスターを展示しました。どれだけの方に見に来ていただけたかは心もとないところがありますが、改めて区民まつりの歴史を実感したところです。</p> <p>昨年の区民まつりは市長も来ており、市の事業の中でも多くの方々に知っていただいているイベントとして、ここまで来ていると思いますが、より多くの方に来ていただけるような工夫や周知は引き続き必要と思っています。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)
2	地域活動の活性化	<p>より多くの方に来てもらうことが目的ではない。何のためにやるのかということが理解できない。</p> <p>例えば、昔は五穀豊穡やみんなの幸せを願い、その代表者たちが一生懸命準備して、まちぐるみでやるのが祭りだった。一部の人たちが一生懸命やっているのを、みんなが冷ややかな目で見ていような祭りは祭りではないような気がする。</p> <p>それよりも対象者を絞って、例えば今回は若い世代、中学生、高校生に来てもらい、大人たちが一生懸命やっていることを見せるイベントということであれば目的がある。大人たちと子どもたちの絆をつくる、高齢者たちが笑って集えるような機会を設けるなど、今回はこういうふうにするという目的があれば、意味があるような気がする。</p> <p>祭りありきで、やらなければいけないこととして物事を動かすのではなく、そこに意義や価値を見いだしていったらいいと思う。すぐには無理かもしれないが、近い将来に区民のみんなが納得できるような祭りやスポーツ大会を開催していただけたらと思う。</p>	中島委員	<p>&lt;古川区長&gt; ご意見をいただいているコミュニティ育成事業については、人と人とのつながりを促進して、地域活動にこれまで関わりが薄かった人などに地域に出てきてもらう、つながりづくりの事業であり、例えば中島委員がおっしゃる福祉のためのイベントや子育て世帯向けのイベントは、それぞれ別の事業で行っています。</p> <p>そこはターゲット別の企画、イベントとしてしっかり押さえた上で、つながりづくりにフォーカスする事業として、実行委員会形式で区民まつりを実施しています。主催者側では2万人とっておりますが、そんな規模の人がまず表に出てきて、皆さんの顔と顔が見える関係の場所に出てきてもらう取組としてやっていただいているという側面、その目的の違いがあるということをご理解いただきたいと思います。</p> <p>その上で、個々のコミュニティ育成事業がさらにどういう形で運営されるのが、この事業の帰着点として一番ふさわしいのかということとしっかりと把握し、意識しながら広報等に努めていく必要性について、頂いたご意見の中から感じました。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)

議題1 「令和5年度大正区運営方針」の振り返りについて

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
3	地域活動の活性化	<p>我々も区民まつりの実行委員に呼ばれているが、メンバーがいつも一緒に、もっと若い方が参加できる時間に関心したどうか。</p> <p>区役所の会議は2時からが多く、午前中や昼からの約束は何も入れられない。現役で働いている方が会議に出るは無理な話。やはり5年先、10年先を考えて、会議を6時からにするなど、サラリーマンの人でも参加できるように、根本的なところから全部変えていかないといけない。</p>	堀江委員	<p>&lt;古川区長&gt;</p> <p>区民まつり実行委員会については、私もいちメンバーというのか、来賓というのか、それで呼ばれている形なので、会の運営そのものの工夫については是非、実行委員会に所属されている方がご意見を仰っていただければと思います。区役所側で直接進め方を議論できないので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>	<p>区役所が主催する会議の開始時刻等を含む運営については、会議の目的を果たすべく、その趣旨や構成員、また、参加者の負担なども考慮しながら適切な手法を検討してまいります。</p>	地域協働課 (地域協働)
4	まちの活性化	<p>もと大正高校について、中之島図書館の所管のもと「書庫」として利用されているとのことだが、とても大きな土地であり、多くの部分が放置されていると思う。</p> <p>3階以上を「津波避難ビル」として使用しているとのことだが、津波というのはめったにあるものではない。通常はどのように使うのか、何か考えないともったいない。建物は使わなければ何にもならない。今後閉校になる泉尾工業高校も含め、せっかく大正区に根差した学校なので、何かの形で使用できないのか。</p> <p>管轄が違うといっても大正区にあるものなので、大正区がもっと力を入れるべき。部屋や運動場を貸し出すなど、いろいろな考えがあると思う。役所の人たちだけで考えるのではなく、区民がどう思っているのか、区民の気持ちも聞いたほうがいいと思う。</p>	北方委員	<p>&lt;大津区政企画担当課長&gt;</p> <p>もと大正高校について、中之島図書館の蔵書をどの場所にどれくらい保管しているかということまでは把握していませんので、空いている部屋を有効活用できるか、その可否についても併せて今後、確認させていただきます。グラウンドは、地域型の総合スポーツクラブが主に使用していると聞いております。</p> <p>泉尾工業については、まだ正式な決定ではないと思いますが、生野工業、東淀川工業、泉尾工業の3校が統合するということで、大阪府で協議されているようです。</p> <p>今公表されている資料によると、令和10年度、2028年度に3校が統合されて新工業高校が開校する予定です。泉尾工業については、新しい高校が開校した年から募集停止となり、新1年生の受け入れをしないということになっているようです。2028年度から募集停止が始まるので、2030年度、令和12年度には泉尾工業の生徒が全員卒業することになります。</p> <p>その後、泉尾工業の建物について、基本は売却だと思っておりますが、例えば大阪府で持っている施設が老朽化したため転用して使うということも考えられますので、そのあたりは状況が分かり次第、ご報告させていただきます。また、区として何か利用できないかという声かけもしていきたいと思っております。</p>	<p>もと大正高校につきましては、建物全体を中之島図書館の建替に伴う蔵書置場として管理されており、空き教室を区民等に一時的に使用してもらうことは想定されておられないとのことですが、情報については入手するように努め、大正区役所の要望も取り入れてもらえないか話をさせていただきたいと思っております。</p>	総務課 (庶務)
5	まちの活性化	<p>公園の清掃ボランティアについて、昭和山は大正区の象徴の公園なのに雑草が多く、それが一番さみしいと思う。例えばボランティアの組織を立ち上げて、何曜日は誰がどこをやるかと、どなたかが指揮をとって対応すればいいのではないかと。</p> <p>例えば、90歳の方が公園の雑草を一生懸命掃除したり草を刈ったりして管理している。泉尾東では、クチナシの花が何千本と綺麗に咲いたが、ものの2カ月で雑草が生え、管理できていない。</p> <p>建設局も下請けに出して草を刈ったらいいというわけではなく、草を刈るのも愛情を込めて一生懸命根から取ってくれたらだいぶ違う。ボランティアの組織を立ち上げるなど、全体が考えていかなければいけないことだと思う。</p>	堀江委員	<p>&lt;古川区長&gt;</p> <p>雑草の管理については建設局も困っており、私のところに足繁く通ってくれて、協議もしています。やはり大阪市全体で予算が足りず、「刈ってくれ」というところに全て応えていたら、今の倍では利かないぐらいだと思います。優先順位を付けて回っていますが、それでは刈り切れない、あるいは整備し切れない。</p> <p>特にグラウンド形式のところは、たくさん利用者がいないと雑草も伸び放題になってしまうということで、利用促進と併せて行いたいと建設局は言っております。公園が平日も含めて頻繁に使われるように、いろいろな工夫づくりを建設局も考えておりますので、区役所もどんどん意見を出していきたいと思っております。</p>	回答済み	総務課 (庶務)

議題1 「令和5年度大正区運営方針」の振り返りについて

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
6	高齢者	<p>高齢者が多いことがとても問題視されていることが気になる。高齢者を守るだけでなく、何で元気な高齢者の舞台をつくってあげないのか。自分の健康管理にばかり目を向けてしまうのは、モチベーションが上がる舞台がないからだと思う。</p> <p>泉尾公園の清掃ボランティアについて、近くに住んでいるのに知らなかった。やりたい人がいっぱいいると思うので、ボランティアのグループをもっとみんなに知っていただく必要がある。</p> <p>また、たくさんではなくていいので、少しの報酬等、心持ちのものをしてあげるといこともモチベーションにつながる。</p> <p>高齢者をひとまとめにするのではなく、元気な高齢者を引きずり出すと元気な大正区ができると思う。こどもが少ないことばかりに目を向けるのではなく、言葉は悪いが、今ある資材の高齢者を利用することを考えるのも大切なことだと思う。</p>	北方委員	<p>&lt;古川区長&gt; おっしゃるとおり、多分病気で伏せている方のほうが数えたら少ないぐらい元気な高齢者がたくさんいます。特に大正区は高齢化しているとは言われますが、本当に地域の皆さんは元気でコミュニケーション能力が高いので、出てきてくださったら本当にいろんな活動、活躍をしていただいています。女性会や民生委員、いろんな会にも女性が参画して、本当にいろいろなイベントもやっていただいております。</p> <p>そのような中で、例えば地域の役等に就いていない一般の方でも、委員がおっしゃったように、モチベーションが上がるように少しの報酬を出して、地域活動に参加してもらおうというのはありだと思っています。</p> <p>実際その仕組みはあり、例えばシルバー人材センターに登録するとか、区社協では「ちょこ助」といって、本当に小さな仕事を小さな値段で引き受ける担い手の募集などもしております。</p> <p>しかし、仕組みがあっても集まらない。どうしたことかということ、そこにどんな喜びがあるのかという実例をどんどん見せてもらうなど、発信が少し足りないということはおっしゃるようになります。</p> <p>元気な高齢者を「資材と言ったら怒られるけど」と仰っていましたが、まさに「地域資源」という言葉があります。嫌な言葉だから使わないようにしようと思われている方は、地域資源と呼ばれる本当に貴重な人材は、もはや高齢化した日本の中では、高齢者こそが一番の地域資源だと思っています。その方たちが本当に喜んで達成感を持って活動に参加していただくような仕組みは幾つかあるので、それをしっかり周知して、その喜びを発信してもらうことが大事かと思っています。気持ちとしては全く同じです。</p>	<p>公園愛護会制度のにつきましては、建設局のホームページに掲載されているところですが、区役所のホームページからも閲覧出来るよう、建設局と協議を進めてまいります。</p> <p>(ご参考) 建設局ホームページ 「公園愛護会制度」 (<a href="https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000009718.html">https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000009718.html</a>)</p>  <p>高齢者のボランティアについて、大正区社会福祉協議会では有償ボランティア制度である有償支えあい活動「ちょこ助」という事業を実施しております。30分300円の報酬をもって互いに助け合い、ボランティアをしていく制度となっています。</p> <p>また、大阪市でも介護予防ポイント事業を実施しております。これは65歳以上の方が、外出の機会の増加や社会参加の促進を図ることで、生きがいつくりや介護予防につながることを目的としています。実際にボランティアをする対象場所は、介護保険施設や保育所、支援を受ける方の自宅等での活動となります。30分以上2時間未満を1ポイント、2時間以上を2ポイントとし、貯まったポイントは1ポイント100円に換金できる制度になっています。</p> <p>無償のボランティアについては、子育てサークル等、地域でもいろいろな事業に取り組まれています。区役所でも区社協と協力し、「ちょこ助」や介護予防ポイント事業のチラシを掲示および配架しており、今後も周知を行っていきたいと考えております。</p>	<p>総務課 (庶務)</p> <p>保健福祉課 (福祉・介護)</p>
7	区政	<p>やはり公募区長の任期が4年というのは正直短い。何もできないのではという実感を皆持っているのではないかと。大阪市全体のことから何から、もっと大きいことなので、長期的に考えてほしい。</p>	堀江委員	<p>&lt;古川区長&gt; 高校の利活用や跡地の利活用を含めて、やはり区長の任期が短い、足りないというのは私が一番実感しております。是非2期連続で大正区長になれるような新制度を要望していきたいと思いますが、今のところは4年というふうに区切られております。何とかその期間内でできる範囲で頑張ってみますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>	<p>回答済み</p>	<p>総務課 (庶務)</p>

議題2 町会加入促進について

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
8	広報	<p>町内加入促進については、ようやく動いてくれたというのが率直な意見である。町会というのは100%ボランティアで、町会の役員をされている方は一銭ももらっていない。こういう方たちが大正区に何百人もおり、しかもみんな一生懸命やる。それを区役所や大阪市は無償で使うことができるので、役所にとってこんな便利な組織はない。そういうのを応援するべきだと思っていた。町会があることすら知らない世代がいっぱいいると思う。動画やYouTube等を見ると、各都道府県、市区町村で町会の歌をつくったり、町会促進のためのイベントを行っている。特に東日本大震災以降、各地域で広まっているように思うので、今後も広めていっていただきたいと思う。</p>	中島委員	<p>&lt;細川地域協働課長&gt;                      今回、加入促進アクションプランを策定するにあたり、各連合会長の皆さまにアクションプランのたたき台についてご説明に回り、ご意見を伺いました。                      その中で、どの地域も大変な状況の中、それぞれの思いを持って、いろいろ考えながら取り組んでいただいております。町会と地域活動協議会であるまちづくり実行委員会との区別がつかないなど、町会について分かりにくい状況で、やはり知らないとはつながらないと思います。まずは知っていただくところから始めないといけないと思っております。                      今後、ご意見を頂きながら広報紙やホームページ等もしっかり見直していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>&lt;北吉副区長&gt;                      大正区の広報紙は多くの方に読んでいただいていることもあり、昨年の広報紙10月号の1面全体を使って、上段がまちづくり実行委員会、下段が町会の枠として、町会長の顔写真を掲載させていただき、身近なつながりをつくりたいと思ったら町会に入りませんかということを記載させていただきました。上段の地域まちづくり実行委員会の枠では、ホームページやLINE、フェイスブック、インスタグラムの二次元コードも付けました。                      私自身も町会に関する報告書や本をいろいろ読みますが、書いてあることは、若い方も参加してもらうにはデジタル化も必要だということや、町会の大切さを伝えるには、いざという時の助け合い、防災の観点も大事というような話が多くありました。地域活動を広く知っていただき、二次元コードから入っていただくような方が増えたらという思いも込めてつくったページでもありますので、この場でも報告させていただきます。</p> <p>&lt;古川区長&gt;                      町会ほど一生懸命働く無償の組織はないということで、本当にそのとおりだと思います。その組織、地域の宝を持ち腐れにしないためには、やはりたくさんの方が加入して、それを知られている状態で運営されていることが大事だと思いますので、デジタル化など周知に工夫を凝らして、若い人の加入も加入促進アクションプランの中で検討していきたいと思っております。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)
9	広報	<p>大正区社会福祉協議会の嘱託職員をしていた時に、どうしたら皆さんに町会に入ってもらえるかという議題が出た。その時に、例えば大正区に転入してきた際に、区役所の窓口で町会に入るように勧めてもらったらいいのではという案が出た。                      その時は全然進まなかったが、大阪市を挙げて大々的に町会の加入を促進することを嬉しく思う。                      また、先日若い方に町会に入っていますかと聞いたら、「町会って何」と聞かれました。マンションの方に町会に入るように言ってもらえませんかとお伝えしました。</p>	姥委員	<p>&lt;細川地域協働課長&gt;                      転入してきた方については、大正区では現在も転入者バックの中に連合会長様の名前や連絡先を載せて、自分の住所を探したら、どなたに連絡すればいいのかが分かるような地図を入れており、それは継続して行っています。                      また、町会って何ですかと、入っていない方に言われるようですので、町会はこういうものだと分かりやすく視覚で分かるようなチラシ等を作っていくほうがいいのではというご意見を地域から頂きましたので、そういうところも検討していきたいと思っております。</p> <p>&lt;古川区長&gt;                      加入促進は本当に大変な課題で、地域の皆さんと一緒に頭を悩ませる課題だと思っているので、ぜひお力を貸していただきたいです。                      また、転入者バックの周知も足りなかったことが本日改めて分かりましたので、いろいろな連合町会やまちづくり実行委員会の際に、こういうものを現に配っていますと改めて周知し直していきたいと思っております。</p>	現在、転入時に配布しているマップ内の「地域振興会」、「連合」などの名称について、より分かりやすい表現に改めます。	地域協働課 (地域協働)

議題2 町会加入促進について

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
10	広報	<p>大正区民になって約2年経つが、ようやくこの4月に町会に入会することができた。ずっと町会に入らないといけないと思いつつも、その手段が分からなかったが、今回たまたま町会長の方とSNSでつながり、ようやく入ることができた。</p> <p>転入者バックに案内が入っていたのかもしれないが、書類が多く見落とすこともある。引っ越しの際は不動産屋に仲介いただいたので、不動産屋から町会の案内をもらうなど、民間の不動産屋に協力してもらうことはできないか。周知する機会はまだまだある気がする。</p>	木幡委員	<p>&lt;細川地域協働課長&gt;                      どのようにしたら町会に入れるのか、恐らく今の広報紙を見ても分からないなど、この取組をしながら思っていたところです。そのように思っている方がたくさんおられると思うので、分かりやすく加入していただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。                      不動産関係の話については、現在、大阪市で宅建協会や不動産協会と地元不動産業者との連携ということで、連携していく内容の確認等をして、今後協力依頼を行っていくということですので、今後、地元の不動産業者にもお願いできることになるのではと思ひております。</p> <p>&lt;古川区長&gt;                      ようやく町会に入っていたようで、ありがとうございます。逆に、2年間意識があったのに加入できなかったことは本当に機会の損失だと思ひます。町会の役員の方と出会ったのがSNSだったということで、やはりデジタル化、SNSの活用などが、今まで知らなかったという人たちへの一助となることは改めて分かりましたので、その辺もプランの中でいろいろ策を練っていききたいと思ひます。本当に大きなヒントを頂いたと思ひております。</p>	<p>現在、転入時に配布しているマップ内の「地域振興会」、「連合」などの名称について、より分かりやすい表現に改めます。</p>	地域協働課 (地域協働)
11	広報	<p>今回、町会加入促進プランをつくったことはとてもいいことだと思ひます。</p> <p>皆さん町会に加入するメリットが分からないのではと思ひますので、プランの中でメリットを示していき、チラシ等で広報していく必要があると思ひます。</p> <p>コストパフォーマンスというのか、町会費を徴収されている以上、何に対してどう使っているのか、町会のほうが示していく必要があると思ひます。</p> <p>また、区役所や行政が町会加入を進めていくなれば、行政も一緒になって、これに対してこれだけ使っているという見せ方を考える必要があると思ひます。</p> <p>私の町会だけだと思ひますが、いろんな行事をされているが、何にどう使われているか分からない。特に今の若い人にはメリットとデメリットは必要であり、それだったら入ろうかなという思ひになるのではないかと。</p>	姉川委員	<p>&lt;細川地域協働課長&gt;                      何がメリットが分かりづらいというご意見はたくさん頂いており、メリットがしっかり分かるような形で広報もしていけないと思ひています。                      また、町会費がどのように使われているかについては、防災訓練や地域の清掃活動をする場合は道具も必要になりますし、子どもたちの見守りでは見守っていただいている方々のユニホームも買わないといけないなど、いろんな形で費用はかかると思ひます。しかし、なかなか活動も分かりづらい状況で、何に会費が使われているかということも分からない状態なのかと思ひます。会費がどのように使われているかという観点も含めた形で、できるだけ分かっていただけるような広報をしていききたいと思ひます。</p> <p>&lt;古川区長&gt;                      町会費がどこに使われているか不明というお悩みもある一方で、堀江委員のように実際、決算書のようなものを印刷して配っているという工夫をされている町会もあります。こどもの見守りやお祭り等は現にお金がかかっているもので、それをざっくりでもいいので、つまびらかにしていくことが大事だと改めて思ひました。その辺も町会にご支援を申し上げていききたいと思ひます。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)
12	その他	<p>町会費を何に使っているか分からないという話について、私どもは決算書を町会費を頂いてる全所帯に配付し、決算・予算を公表しており、公明正大にしている。</p> <p>町会費については、災害のために残すことは必要だが、後々に残すのではなく、こどもや高齢者を含めて今の方に還元することが一番だと思ひている。</p>	堀江委員	<p>&lt;古川区長&gt;                      町会費がどこに使われているか不明というお悩みもある一方で、堀江委員のように実際、決算書のようなものを印刷して配っているという工夫をされている町会もあります。こどもの見守りやお祭り等は現にお金がかかっているもので、それをざっくりでもいいので、つまびらかにしていくことが大事だと改めて思ひました。その辺も町会にご支援を申し上げていききたいと思ひます。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)

議題2 町会加入促進について

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
13	広報	<p>ボランティアの方々がまちの様々なことをしているということを知らない方が多くいると思う。善意の方々が良いまちづくりが成り立っていることを一人でも多くの人に伝えていくことが大事だと思う。伝えることによって、私もやってみようという声が集まり、まちを良くするために力を貸そうという人が少しでも集まると思う。</p> <p>町会に関しては、町会入ったら隣近所が絡んでややこしかったら嫌だから敬遠するという声もあり、ネット上でネガティブな情報がひとり歩きしているように思う。区役所のInstagram等も活用して、今日もこういう人達がこういう活動をしていてくれるということを継続的に発信し、どんどん知ってもらえることが大事だと思う。</p> <p>SNSに力を入れている自治体はそこまで多くないと思うので、そこに全力で力を入れたら、大阪市の中でも目立って存在になるかもしれない。一回注目されるとコミュニティ力が高い地域だと思うので、本当の良さに気付いてもらえるのではないかな。自分事として捉える人が一人でも増えるのではないかなと思う。</p>	土井委員	<p>&lt;古川区長&gt; 町会活動はボランティアの善意の固まりだということを知ってもらえば、町にも興味が出て、私もやってみようという人が出るだろうという、このご意見が一番大事だと思っています。</p> <p>善意で行っている人たちの魂や動機は一体何なんだということ、どこに楽しさがあるんだ、どこに達成感があるんだというのを伝えていくのが大事で、委員のご発案だとSNSの発信など例示として承りました。</p> <p>しかし、やはりこれを生の声で、実働で動いている会長さんたちがたくさん発信していただいたら助かるなと思いますので、これとSNS等をかみ合わせてうまく発信できたらと思います。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)
14	企業の町会加入	<p>以前、港区の防災ミーティングに参加した際、昼間働いている人は避難の想定人数に入っていないということを聞いた。大正区に住んでいるが港区で働いているので、働いている間に何かあったら助けてもらえない、想定に入っていないと知り、初めて町会に入ったほうがいいと思った。</p> <p>社員を守らないといけないので、周りとの協力して避難訓練等をしなければいけない。備蓄倉庫についても、高いビルにみんなの食料を置いてもらおうとすると、地域との連携が必要となる。</p> <p>自分の会社を守るためには、住んでいる大正区ではなく、企業として港区の町会に入らないといけない。</p> <p>企業の町会誘致についてPRしたらどうか。企業にしたら費用面もたいしたことないので、企業の方だったら入ろうかと思うところがある。企業が町会に入るという立て付けがあまり分からないので教えてほしい。</p>	南委員	<p>&lt;北吉副区長&gt; 区役所からのPRはまだ考えていかないといけません。</p> <p>大阪市地域振興会のホームページでは、トップページの「ご存知ですか？地域振興会・赤十字奉仕団」という項目の中で、「商店や事業所なども構成員です」ということが書かれており、「一般の家庭だけではなく、商店や事業所、事務所、それに単身者の方もまちづくりの大切なパートナーです」と書かれています。広く知っていただくような努力は区役所も必要かと思っております。</p> <p>&lt;古川区長&gt; 自分の会社を災害から守るために町会のことを意識し始めたというのは大事なことで、やはり町会加入のメインの意義は防災関係にあると思っています。この辺のPRも引き続きやっていくとともに、事業所単位で加入するという賛助会員のような制度もあるようですので、そのPRにも努めていきたいと思っています。</p>	<p>大前提としまして、町会は、地域住民のボランティアにより運営されています。</p> <p>町会では、日ごろから地域住民や事業所等が繋がりを持ち、町会単位で顔が見える関係になることで、災害時にもお互いに「ささえあう」ことができるという「共助」の仕組みも含有しています。</p> <p>少しでも多くの地域住民、事業所、団体等などが関わりを持ち、いざという時にささえあうマンパワーが増えることで、その「共助」の仕組みが強化され、災害に強い地域づくりに繋がると考えておりますので、事業所等の皆さんにこの仕組みを知っていただき、可能であれば町会にご加入をいただくべく、広報の取組を推進してまいりたいと考えております。</p>	<p>地域協働課 (地域協働)</p> <p>地域協働課 (防災防犯)</p>
15	企業の町会加入	<p>事業所での町会加入について、事業主が区内に住んでいないと、地域との接点が全然ない。企業としては、防災の危機意識は持っているが、地域の防災訓練等は休日に行うこともあり、それだけのために出てくるのは難しい。また、事業主が地域の防災訓練の存在自体を認識していないことが多いと思う。</p> <p>逆に、事業所に対してそのような観点で訴えかけると、町会加入の意味合いは絶対認識されると思う。例えばものづくりフェスタに地域の企業が参画しているので、そこだけでも広報していただいたら企業の加入も増えると思う。</p>	木幡委員	<p>&lt;細川地域協働課長&gt; 防災の観点は皆さん関心があるため、地域で取り組んでいただいている防災訓練等の活動を知っていただけるような広報をしていきたいと思っています。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)

議題2 町会加入促進について

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
16	町会加入促進	全国で町会加入率が高い市町村等の統計がある場合は、なぜ高いのか参考にできる可能性があるのではないか。	藤田委員	<p>&lt;細川地域協働課長&gt; 今後、加入率の高い市町村等の事例を参考にしてみたいと思います。</p> <p>&lt;古川区長&gt; おっしゃるとおり、今回の促進プランの戦略③に次世代型の町会モデルというのを設定しております。町会の成功事例等を収集してストックし、さらにこれを町会の求めに応じて提供するという目標になっておりますので、しっかり取り組んでいきたいと思ひます。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)
17	町会加入促進	<p>町会に入るよう勤める際に、これは義務ですかと聞かれた時、どういふふうに返事をしたらいいのか区役所に聞きたい。 現場では町会に入るメリットやデメリットを説明するより先に、義務ですかと聞かれたら、任意団体なので加入するかは本人次第としか返事のしようがない。そうしたらやめておこうとなる住民の方も結構いらっしゃる。 加入すると災害等の時にはどうこうと説明ができるかという、防災の備蓄品などは市からの補助金を使って備蓄しているのがほとんどなので、税金が原資のため、町会に加入未加入かわからず、平等に皆さんのために使ってくださいということになる。それが表に出てしまうと、町会に入っているメリットが1つ減り、ジレンマに陥る。 振興町会の主立ったメンバーは、高齢者がほとんどである。会議が2時とか3時からでは若い人が出られない。地域の行事も、行事自体は日曜日だが、準備段階の会議は全て平日でやらなければいけないので、若い人に運営の段階に入っていたくのは難しい。町会を手伝ってもらえませんかとか声かけしても、仕事がということで終わる。 そういう難しい点があるので、これが何とか好転し、少しでも加入していただくように促進していくことに大きく期待している。</p>	大石委員	<p>&lt;細川地域協働課長&gt; いつもいろいろなご苦労いただいていることかと思ひます。なかなか難しい部分だとお話を聞いていて思ったところです。 まちづくり実行委員会は補助金で事業を行っていただいておりますが、中心的に運営して動かしていただいているのは町会の方々でもありますので、その団体に加入している方がどんどん減っていくと、結局まちづくり実行委員会の事業もやりづらくなっていくと思ひます。なかなかご理解いただけない部分もあるかと思ひますが、町会へ加入していただけるよう、しっかりやっていきたいと思ひます。</p> <p>&lt;古川区長&gt; 町会加入は義務ですかと聞かれたら、実は義務ではないんですと区役所も答えざるを得ないです。加入促進の行動と加入しなくてもいいという行動を同時にやっているようなもので、本当にジレンマです。 ジレンマが一番感じている会長様方のご意見を聞いて、その部分をどう説明していくのが一番いいのか、また膝詰めで作戦会議をしながら促進プランを良いものに練り上げていきたいと思ひますので、お知恵を貸してください。よろしくお願ひします。 また、町会の会合は平日の日中だと集まれないという論点に関しては、例えばPTAは夜7時集合などでやっています。その辺の実態も参考にさせていただいて、委員が高齢化していくと夜が辛いという方もいらっしゃると思ひますが、どちらを取るのか悩みながら開催時間等も工夫する必要があると感じました。</p>	<p>区役所が主催する会議の開始時刻等を含む運営については、会議の目的を果たすべく、その趣旨や構成員、また、参加者の負担なども考慮しながら適切な手法を検討してまいります。</p>	地域協働課 (地域協働)
18	町会加入促進	町会は人の善意で成立しているが、変な人が入ってきた時に自浄作用では難しいと思ひます。たまに横領の話等も聞かし、例えば犯罪歴があったら入れないなど、何かハードルも必要だと思ひます。それがあつて安全だと感じ、逆の入りやすさもあるのではないか。	南委員	<p>&lt;古川区長&gt; ウエルカムだけでやっていくと、会として考えた時には望まない人も加入してしまう、むしろハードルを上げたほうがいいというのは面白い視点だと思ひましたが、今すぐに妙案がないので、またいろいろ意見交換させていただきながら、メリット・デメリットをうまく区民の方にお伝えしていくように工夫したいと思ひます。</p>	回答済み	地域協働課 (地域協働)

【ご意見シート】

	意見内容	委員名	対応	担当課
19	<p>将来ビジョン2025 12ページ(ウ) 「(災害発生時の避難支援)への連携」について、 ①地震や台風等での避難が必要な時は、大正区民にどの様にお知らせをするのでしょうか。 ②地震が発生した場合、大正区民へのアナウンスはどれくらいの時間で実施されますか。また、地震等の情報収集はマスメディアの他に各自治体の組織で収集できる体制になっているのでしょうか。 ③避難先は掲示等されていますが、いざという時に光や音で避難場所(施設)をお知らせするシステムがあれば分かりやすいと思うのですが。特に停電した夜間など。</p>	藤田委員	<p>①避難情報は、防災スピーカー、ホームページ、おおさか防災ネット、X、LINE、大阪防災アプリ、報道等により即時通知されます。 ②地震発生時、震度5弱以上の揺れを予想した場合、大正区内に設置されている防災スピーカー26基から自動的に「緊急地震速報チャイム音」が流れます。また、災害情報は市災害対策本部から区災害対策本部に共有され、各区で把握した被害情報等は、区災害対策本部から市災害対策本部に集約されることとなります。 ③災害時避難所の開設状況は、「大阪防災アプリ」で確認いただくことができます。一方、津波避難ビルは、施設管理者の協力のもと指定した施設であり、津波避難ビル表示板以外の設置は施設管理者との協議等を含め課題が多いと考えております。 喫緊の取組として、まずは区内10地域ごとに作成し全戸配布している「津波避難マップ」や「大阪防災アプリ」等により、あらかじめ避難場所を複数決めておいていただき、区民の皆さんがいざという時に命を守る行動をとることができるよう、「自助」の備えについての啓発に、引き続き取り組んでまいります。</p>	地域協働課 (防災防犯)
20	<p>将来ビジョン2025 14ページ(オ) 「生活困窮者を早期に把握し」と記載されていますが、どの様に早期に把握するのでしょうか。</p>	藤田委員	<p>様々な課題を抱える生活困窮者の相談は、区役所のインコス大正で実施しています。その方法として、二次元コード入りのポスターやチラシを、大正区内のバス停、(社福)大正区社会福祉協議会、地域の福祉会館、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等に設置していただき、困りごとがあった場合にすぐ相談できるよう周知しています。 また、大正区役所広報紙、(社福)大正区社会福祉協議会広報紙(年3回発行)に掲載し、全戸配付による周知を行うなど、本人からだけでなく家族や身近な人たちからもつながることで、早期に把握できる仕組みになっています。 民生委員、見守り推進員、介護支援関係団体等に対し、生活困窮者に関する情報提供や報告を依頼し、生活困窮者の早期把握に努めています。 区役所内においても、区役所保健福祉課(障がい、介護保険、健康づくり、子ども・教育、生活支援)等担当者から生活困窮にかかる相談も受けており、連携して早期把握に努めています。</p>	保健福祉課 (福祉)
21	<p>タグポート大正は順調に運営されているのでしょうか。</p>	藤田委員	<p>令和2年2月にオープンした1次開業部分(フードコート、レストラン等)については、概ね順調に運営できていると運営事業者から報告を受けています。さらには、タグポート大正を発着するクルーズ船も定期運航しているなど、水辺空間を生かした賑わいづくり、大正区のエリア価値の向上に寄与しているものと考えています。 一方、未着手となっている2期開業部分(宿泊施設等)については、現在、着工に向けて関係機関との調整を行っている状況です。</p>	地域協働課 (地域協働)